

第 1 号議案 2019 年度事業報告、決算承認の件

I. 2019 年度事業報告

1. 基本活動方針に基づく活動

(1) 意思決定プロセスの効率化

- ・それまで別個に開催していた代表幹事会と常任幹事会を合同で開催することにより意思決定プロセスの効率化を図った。また、合同開催による事務手続簡素化を通じてコスト削減にもつながった。

(2) 組織の簡素化・担い手の確保

- ・部会の統配合については、「経済学部同窓会組織等改革検討委員会」及び代表・常任合同幹事会で検討を重ねた結果、拙速に統廃合を急ぐのではなく、活動テーマごとに既存の部会の人材を横断的に活用すべく体制を整えるべきとの結論に達した。
- ・次世代に繋げる人材の育成及び活動に関しては、若手会員との接触を密にしつつ、若い世代の常任幹事就任を促すことにより、中期的な人材の育成につなげる活動を行った。

(3) 学生を含む若手に対するネットを通じた同窓会の魅力・メリットのアピール

- ・QR コードを用いたメルマガ登録制度を設け、2019 年度及び 20 年度卒業生に対し、チラシを作成しつつ登録を呼びかけた。その結果、60 名以上の登録者を得、年間 20 本以上のメルマガを配信した。今後は、新入生や在校生への勧誘も行う予定である。
- ・将来に向けた同窓会のデジタル化の可能性に関し、若手会員と意見交換を行った結果、SNS 等による同窓会のネットワーク化は同窓会運営のための人材やコスト面から今後必要不可欠との認識を得た。

(4) コストの削減

- ・既存の財務システム及び会員管理システムは、構築から 10 年以上を経過し、システムの老朽化及び維持管理コストの増大が懸念されたことから、既存システムを廃棄したうえで、思い切った簡素化を図った。その結果、システム運営費用はゼロとなった。
- ・そのほかのコストについても、事務局開室時間の短縮を含め可能な限りの削減を図った結果、ほぼすべての費用の減少につながった。

(5) 2020 年 10 月に予定される経済学部創設 100 周年記念行事への協力

- ・教授会執行部との懇談会等を通じて同窓会による協力に関し意見交換を行い、同窓会からの記念誌の発行、リレー講義への講師派遣、記念式典やプレゼンテーション大会への協賛等、具体的項目が確認された。

2. 専門部会による経常的な活動の実施

計画に掲げた事業、行事についてはすべて完遂するとともに、諸活動の詳細については、逐次同窓会報で報告した。

3. 合同幹事会

代表・常任幹事会を定時として奇数月に合計6回開催。ただし、2020年3月及び5月については、新型コロナウイルスの影響による集会等の自粛要請のため、書面による開催とした。

Ⅱ. 2019年度決算報告（別紙参照）